

II. 事業計画及び予算案

1. 平成22年度事業計画案(総括)

I. 事業の内容

法人の目的を遂行するために次の事業を行う

1. 学術大会及び学術教育事業
 - 1) 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会(大阪大会)の開催
会員の研究発表と学識経験者による講演
平成22年6月11日・12日・13日の3日間：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
 - 2) 支部学術集会の開催
 - 3) 学術部委員会の開催：学術部事業の協議、実施
 - 4) 抄録審査委員会(小委員会)の開催：学術大会の一般発表応募抄録の審査
2. 学会雑誌の発行事業(学会誌、学術図書及び資料の刊行)
 - 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行：年5回発行(60巻2号～61巻1号)
 - 2) 学会報の発行(学会雑誌に併載)：117号～120号
 - 3) 編集部委員会の開催
3. 調査研究事業(調査研究の実施)
 - 1) 研究部委員会の開催：研究部事業の協議・実施
 - 2) 研究専門委員会：プロジェクト研究の公募、審査、決定
 - 3) データベース委員会：鍼灸医療統合文献データベースの保守・管理体制の確立
 - 4) EBMワーキンググループ：鍼灸医療推進研究会の調査研究への協力
 - 5) 学会編「変形性膝関節症に対する鍼灸治療のエビデンス」の普及
 - 6) 東洋療法研修試験財団の受託研究の実施
 - 7) 臨床研究論文評価活動、並びにベストケース集積活動の普及・推進
 - 8) 研究倫理綱領の作成
4. 学術交流事業(内外関連学協会との連絡及び協力)
 - 1) 国際部委員会の開催
 - 2) 国際学術交流
 - ① WHO及びWFAS、JLOMへの対応、協力
 - ② 国際学会派遣：各国関連学協会との交流
 - ③ 日・中・韓。その他との学術交流
 - ④ 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介：「世界の鍼灸コミュニケーション」
 - ⑤ 日本鍼灸関連情報の海外への紹介
 - 3) 国内関連学会との連絡及び協力
 - ① 国内の関連学会との交流及び協力
5. 研究の奨励及び研究業績の表彰
高木賞選考委員会の開催及び高木賞の授与
6. 組織の拡充及び支部活動事業(組織拡充及び支部活動の助成)
 - 1) 入会促進活動：関連学会への入会金免除による入会促進
 - 2) 学生会員から正会員への切り替え促進活動(優遇措置)

- 3) 会員名簿の発行
- 4) 支部活動の支援
- 5) 支部運営委員会の開催
- 6) 関連学校優秀卒業生への会長表彰
- 7. 広報活動の充実
 - 1) Webの維持管理：サーバーの維持管理
 - 2) ホームページのデザイン・内容変更：英語版ホームページのデザイン作成継続
 - 3) 会員頒布用小冊子作成：「基礎と臨床の交流」
 - 4) 広報部会の開催
- 8. 認定委員会
 - 1) 認定講習の審査
 - 2) 認定委員会・認定審査委員会・認定実務委員会・認定試験委員会の開催
 - 3) 認定登録者名簿の発行
- 9. その他目的を達成するために必要な事業
 - 1) 新公益法人に向けての取り組み
 - 2) 公益法人新会計基準による経理処理
 - 3) 鍼灸医学の啓蒙と普及：一般向けの公開講座、講演会の開催
 - 4) 会員の資質向上のための事業
 - 5) 鍼灸医療推進研究会への参加
 - 6) 鍼灸師養成施設新卒業生への会長表彰の作成・発送
 - 7) 会員証（JCBビジネスカード）の取得促進

II. 会議の内容

会務を円滑に運営するために次の会議を行う

- 1. 通常総会 平成22年 6月12日(土)：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
- 2. 評議員会
 - 1) 平成22年 6月11日(金) : 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
 - 2) 平成23年 3月20日(日) : 日本鍼灸会館
- 3. 理事会
 - 1) 平成22年 6月11日(金) : 大阪国際会議場
 - 2) 平成22年 8月 1日(日) : 日本鍼灸会館
 - 3) 平成22年10月31日(日) : 日本鍼灸会館
 - 4) 平成23年 2月 6日(日) : 日本鍼灸会館
 - 5) 平成23年 3月20日(日) : 日本鍼灸会館
- 4. 臨時理事会
 - 平成22年 6月13日(日) : 大阪国際会議場
- 5. 常務理事会
 - 1) 平成22年10月31日(日) : 日本鍼灸会館
 - 2) 平成23年 2月 6日(日) : 日本鍼灸会館
- 6. 支部運営委員会
 - 1) 平成22年 6月11日(金)：大阪国際会議場
 - 2) 平成22年 8月 1日(日)：日本鍼灸会館

- 3)平成22年10月31日(日)：日本鍼灸会館
- 4)平成23年 2月 6日(日)：日本鍼灸会館
- 5)平成23年 3月20日(日)：日本鍼灸会館
- 7. 定款等改正検討委員会
 - 1)平成22年 5月 9日(日)：日本鍼灸会館
 - 2)平成22年 8月29日(日)：日本鍼灸会館
 - 3)平成22年11月21日(日)：日本鍼灸会館
 - 4)平成23年 1月30日(日)：日本鍼灸会館
 - 5)平成23年 3月19日(土)：日本鍼灸会館
- 8.その他の会議
 - 1)認定委員会
 - 2)スポーツ鍼灸委員会
 - 3)施術事故等緊急対策連絡会
 - 4)予算検討委員会
 - 5)各部委員会及び各部小委員会

III. 諸規則の制定及び改定に関すること

- 1. 諸規則の改定
- 2. 文部科学省への報告
- 3. 新公益法人移行のための定款改正案の作成

2. 平成22年度 各部事業計画案

1) 平成22年度 事務局事業計画(案)

I. 会務運営のための諸会議に関すること、及び会議録の作成並びに保管

- 1. 通常総会 平成22年 6月 12日(土)：大阪国際会議場
- 2. 評議員会
 - 1)平成22年 6月11日(金) : 大阪国際会議場
 - 2)平成23年 3月20日(日) : 日本鍼灸会館
- 3. 理事会
 - 1)平成22年 6月11日(金) : 大阪国際会議場
 - 2)平成22年 8月 1日(日) : 日本鍼灸会館
 - 3)平成22年10月31日(日) : 日本鍼灸会館
 - 4)平成23年 2月 6日(日) : 日本鍼灸会館
 - 5)平成23年 3月20日(日) : 日本鍼灸会館
- 4. 臨時理事会
平成22年 6月13日(日) : 大阪国際会議場
- 5. 常務理事会
 - 1)平成22年10月31日(日) : 日本鍼灸会館
 - 2)平成23年 2月 6日(日) : 日本鍼灸会館

6. その他の会議

1) 支部運営委員会

- ①平成22年 6月11日(金)：大阪国際会議場
- ②平成22年 8月 1日(日)：日本鍼灸会館
- ③平成22年10月31日(日)：日本鍼灸会館
- ④平成23年 2月 6日(日)：日本鍼灸会館
- ⑤平成23年 3月20日(日)：日本鍼灸会館

2) 定款等改正検討委員会

- ①平成22年 5月 9日(日)：日本鍼灸会館
- ②平成22年 8月29日(日)：日本鍼灸会館
- ③平成22年11月21日(日)：日本鍼灸会館
- ④平成23年 1月30日(日)：日本鍼灸会館
- ⑤平成23年 3月19日(土)：日本鍼灸会館

3) 鍼灸学術団体協議会

4) 認 定 委 員 会

5) スポーツ鍼灸委員会

6) 施術事故等緊急対策連絡会

7) 予算案検討委員会

8) 各部委員会及び各部小委員会

II. 庶務、事務所及び職員に関すること

1. 事務管理部門の強化及び職務分担による運営の合理化
2. 事務所備品、事務消耗品等の在庫管理
3. 会員データベースの管理
4. 情報ネットワーク網の整備

III. 官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関すること

1. 官公庁、諸団体からの文書、書簡の整理、保管
2. 文科省への出向、書類提出
3. 鍼灸関連団体との連絡調整

IV. 理事会・評議員会の自己点検・自己評価の導入に関すること

1. 自己点検・自己評価システムの導入に関する検討

V. その他、他部の所管に属さない事項

2) 平成22年度 学術部事業計画(案)

I. 学術部の基本方針

学術部は、①分かりやすい、②聞きやすい、③参加しやすい

を基本方針として学術大会、学会作りに努力する。そのために以下の事業を計画した。

II. 平成22年度事業計画

1. 学術部委員会の開催（年2回予定）

学術部の基本方針、事業計画案及び具体的なアクションプランを策定するために委員会を開催する。

2. 学術大会について

- 1) 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会（大阪大会）の準備支援（平成22年、2010年）
- 2) 第60回(社)全日本鍼灸学会学術大会（関東支部）の準備支援（平成23年、2011年）
- 3) 第61回(社)全日本鍼灸学会学術大会開催地決定について

3. 支部学術集会について

支部の学術集会が充実・発展するよう相談・協力等の支援を行う。

4. 鍼灸学術団体協議会について

平成22年度に開催予定

5. その他学術に関すること

- 1) 高木賞選考委員会の開催
- 2) 規程に従って委員会を開催する。
- 3) 抄録審査について
抄録審査委員会の下部組織である抄録審査小委員会が実施する。
- 4) その他
 - (1) 抄録集のキーワード用語解説集の発行。
 - (2) 抄録集に収録されるキーワードの中から解説を必要とする用語を選択し、分かりやすく解説した用語集を発行する。
 - (3) 学生ポスター発表の開催（第59回(社)全日本鍼灸学術大会（大阪大会）時）に向け準備（大阪大会実行委員会と共同にて）

3) 平成22年度 研究部事業計画(案)

I. 鍼灸医学研究に関すること

1. 研究公募の実施（研究部委員会）
2. 東洋療法研修試験財団の受託研究の実施
3. 鍼灸医療推進研究会活動への協力

1. 研究専門委員会

- 1) プロジェクト研究の公募、審査、決定

2. 経穴部位標準化委員会（第二次日本経穴委員会）

- 1) 経穴部位標準化の成果（WHO/WPRO）の普及・啓蒙

3. データベース委員会

- 1) データベースを利用した調査研究の推進
- 2) 鍼灸医療総合文献データベースの保守・管理体制の確立
- 3) 臨床試験文献のデータベース化
- 4) RCTと論文評価の研修会の実施

4. EBMワーキンググループ

- 1) 医療推進研究会の調査研究への協力。
- 2) 東洋療法研修試験財団の受託研究の実施

- 3) データベース委員会の活動への参加と支援活動
- 4) 研究倫理綱領の作成

II. 鍼灸医学教育に関すること

1. 学会編「変形性膝関節症に対する鍼灸治療のエビデンス」の普及
2. データベース委員会の臨床研究論文評価活動の普及

4) 平成22年度 編集部事業計画(案)

I. 学会誌の編集、広告、発行、配布に関すること

1. 学会誌の発行
 - 1) 60巻2号 (平成22年 5月末発行予定)
 - 2) 60巻4号 (平成22年 8月発行予定)
 - 3) 60巻5号 (平成22年11月発行予定)
 - 4) 61巻1号 (平成23年 2月発行予定)
2. Japanese Acupuncture and Moxibustion(JAM) Vol.5の発刊 (平成21年3月予定)
3. 編集委員会の開催 (年4回開催予定)

第1回	平成22年 7月 (予定)
第2回	平成22年10月 (予定)
第3回	平成23年 1月 (予定)
第4回	平成23年 3月 (予定)

II. 学会誌の原稿・資料の収集に関すること

1. 投稿原稿、依頼原稿の収集
2. 第59回学術大会の基調講演、特別講演、シンポジウム、セミナーの原稿の収集
3. その他、学会員の学術向上に寄与する解説、総説、図書紹介等の原稿依頼の収集

III. 学会報の編集、発行、配布に関すること

1. 学会誌 (60巻2号、4号、5号、61巻1号) に学会報を掲載予定

IV. 学会図書及び資料の刊行に関すること

1. 必要に応じて、図書や資料を刊行する。

V. その他

1. 全巻全号電子アーカイブ化に伴う著作権委譲に関するお願いについて会員への周知を図る。
2. 近い将来にMedlineへ掲載されるべく準備を進める

5) 平成22年度 組織部事業計画(案)

I. 入会審査及び登録業務

II. 会員名簿管理

Ⅲ. 入会の促進業務

1. インターネットによる入会促進
2. 学生会員の正会員への切替促進
3. 関連学会会員の入会促進

Ⅳ. 支部学術事業への協力

Ⅴ. 会員名簿の作成

6) 平成22年度 国際部事業計画(案)

I. 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介

1. 学会誌の「世界の鍼灸コミュニケーション」シリーズを継続する。
2. 学会誌の「国際部報告」シリーズを執筆する。

II. 日本鍼灸関連情報の海外への紹介

1. 学会英文homepage の改訂作業を継続。
2. JSAM introduction (Invitation to Japanese Acupuncture) のリーフレットをreviseして「日本鍼灸」紹介するための冊子としていく。
3. 外国人の研修・見学の受け皿となる施設を適宜紹介するシステムの整備を行う。

III. 世界保健機関 (WHO)、世界鍼灸学会連合会 (WFAS)、その他の国際機関との対応

1. WFASのmember societyとしての活動を継続する。
2. JLOM関連委員会と連携しながら、必要な活動を行う。
3. 国際学会派遣
世界の鍼灸研究・教育の状況を正確に会員に伝えるため、定点観測的に海外の学術雑誌、学会、公的機関の活動 (NIHなど) をモニターする。

IV. 海外の鍼灸関連学協会との交流

1. 海外の学協会へ学会誌の謹呈を行う。
2. 学会誌謹呈リストのupdateを行う。
3. 大韓鍼灸学会、中国鍼灸学会その他との交流を継続する。

V. 国際部委員会開催

1. 年2回開催し、必要な事項について協議を行う。

7) 平成22年度 広報部事業計画 (案)

I. Webの維持管理

1. 本会サーバーの維持管理 (サーバー管理業者に依頼)
2. ホームページ内容の更新管理 (業者依頼・広報部員の協力)

3. 学術集会・研修会情報収集及び案内
4. サーバーの移転検討

II. ホームページのデザイン・内容変更

1. 英語版のホームページを日本語版に準じてデザイン作成継続

III. 会員頒布用小冊子作成

「基礎と臨床の交流」の小冊子作成。(昨年度より継続) 矢野先生と共同にて

IV. 会議の開催

年一度部会を開催。Web会議随時。

V. アンケート調査実施

学術大会時にアンケート調査を行う。約1000名

VI. 第60回東京大会に向けて